

## 特集1 新型コロナウイルス感染症に係る対応

(令和5年5月末現在)

新型コロナウイルスは、日本においては令和2年（2020年）1月16日から感染者が確認され始め、4月には緊急事態宣言まで発出される事態となりました。

新型コロナウイルス感染症に対する政府や大阪府、吹田市の動きと、吹田市立図書館としての対応をまとめました。

年	月日	吹田市立図書館の対応	国、大阪府、吹田市の動向等
令和2年 (2020年)	2月19日		市) 第2回吹田市新型コロナウイルス感染症対策本部会議開催 当面2月20日から3月末日までは、市主催（共催含む）の市民が参加するイベントや集会を原則中止又は延期することを決定
	2月20日～	対策本部会議の決定を受け、行事等中止	
	3月4日		吹田市内最初の陽性者を発表
	3月5日		市) 第5回吹田市新型コロナウイルス感染症対策本部会議開催 市内在住者に感染者が発生したことに伴い、感染拡大防止の観点から公共施設の使用中止等を決定（休館等の期間は3月末までを予定）
	3月6日～	対策本部会議の決定を受け、臨時休館（予約資料の貸出は継続） 一部の館にて「おたのしみバック」作成、設置自動車文庫の巡回中止（学童保育への巡回は続行）	
	3月12日	吹田市立図書館公式Twitterにて、「病気・病院」についてのパスファインダー、自宅から楽しめる配信動画の紹介等のツイートを開始	
	3月17日	図書館ホームページに、gif動画を用いて解説した「パスワードの発行のしかた」を掲載	
	3月31日		市) 第9回吹田市新型コロナウイルス感染症対策本部会議開催 オーバーシュート回避のため、原則、4月以降の市主催（共催）イベント等の中止・延期、市有施設の休館措置を当面の間延長することを決定
	4月7日	図書館ホームページに「うち読み」（*1）を掲載	国) 大阪府を含む7都府県に対し緊急事態宣言発出 市) 第11回吹田市新型コロナウイルス感染症対策本部会議開催 緊急事態宣言後の対応として、イベントや行事について、緊急事態宣言の期間は見合わせるとともに、6月末までの期間についても、準備・調整や周知の期間を考慮し原則として実施を見合わせること決定
	4月8日～	緊急事態宣言発出に伴い、完全休館（館内への立ち入り及び予約資料の貸出についても中止）	
	4月10日	「わいわいブックトーク」（*2）動画制作、図書館ホームページにリンクを掲載	
	4月16日		国) 緊急事態宣言の対象地域を全国に拡大
	4月17日	図書館ホームページに「おうちde運動講座」（*3）、「ミュージアム大集合！」（*4）を掲載	
	5月11日～	予約資料の貸出再開 （午前10時～正午、午後2時～5時）（*5）	
	5月14日		国) 39県（大阪府含まず）の緊急事態宣言解除
	5月15日～	予約資料の貸出時間変更 （午前10時～午後1時、午後2時～5時）（*5）	
	5月20日		市) 第18回吹田市新型コロナウイルス感染症対策本部会議開催 21日の国府の状況をふまえて施設の再開等の見直しを行い、22日の本部会議にて決定した後公表することを決定
	5月21日		国) 大阪府、京都府及び兵庫県緊急事態宣言解除
	5月22日		市) 第19回吹田市新型コロナウイルス感染症対策本部会議開催 緊急事態宣言解除に伴う公共施設の再開等について協議。 公共施設の再開条件として「感染拡大防止対策に関するチェックリスト」を遵守することを決定

年	月日	吹田市立図書館の対応	国、大阪府、吹田市の動向等
令和2年 (2020年)	5月25日～	<b>一部制限付き開館再開</b> (午前10時～午後1時、午後2時～5時) (*5)	国) すべての緊急事態宣言解除
	5月29日		府) 「大阪コロナ追跡システム」運用開始
	6月19日		国) 新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」リリース
	7月1日～	<b>夜間開館再開</b> (午前10時～午後1時、午後2時～5時、 《木・金》午後6時～8時) (*5) 開館時の制限緩和 (*6)	
	7月12日		府) 感染再拡大に伴い、「大阪モデル」に基づく「警戒信号(黄色)」が点灯
	7月27日	サービスの一部変更 (*7)	
	8月26日		市) 第29回吹田市新型コロナウイルス感染症等対策本部会議開催 イベントや行事等については、適切な感染拡大防止に向けた対応をとったうえで9月以降の再開に取り組むことを決定
	9月～	適切な感染拡大防止対策が可能と判断した ものから順次、行事再開	
	10月	「令和2年度第1回吹田市立図書館協議会」を 書面開催に	
	12月3日		府) 感染再拡大に伴い、「大阪モデル」に基づく「警戒信号(赤色)」が点灯 市) 第33回吹田市新型コロナウイルス感染症等対策本部会議開催 高齢者の利用の多い施設は年末まで休館とすることを決定
	12月7日～	<b>臨時休館</b> (予約資料の貸出は継続)	
	12月24日		市) 第35回吹田市新型コロナウイルス感染症等対策本部会議開催 高齢者の利用が多い公共施設は1月末まで休館延長するが、必ずしも高齢者の利用が中心ではない図書館は、感染状況を見ながら1月12日から再開するとの方針を決定
	令和3年 (2021年)	1月7日	
1月12日		開館(午前10時～午後1時30分、午後2時～5時30分、 《木・金》午後6時～8時) (*5)	
1月13日～		<b>臨時休館</b> (予約資料の貸出は継続)	国) 大阪府を含む7府県に対し緊急事態宣言発出(1月14日から対象地域に追加) 市) 第37回吹田市新型コロナウイルス感染症等対策本部会議開催 国、大阪府の要請等を基本対応とすることを決定
2月		「令和2年度第2回吹田市立図書館協議会」を 書面開催に	
2月5日			市) 第38回吹田市新型コロナウイルス感染症等対策本部会議開催 高齢者の利用が多い公共施設は休館しているが、感染リスクの少ない図書館・博物館は、最大限の感染拡大防止の対応策を行い2月10日から開館することを決定
2月10日～		<b>一部制限付き開館再開</b> (午前10時～午後1時30分、午後2時～5時30分、 《木・金》午後6時～8時) (*5)	
2月26日			国) 緊急事態宣言発出中の10都府県のうち、大阪府を含む6府県の緊急事態宣言を解除(3月1日から適用)
3月1日		開館時の制限緩和 (*8) (午前10時～5時30分、《木・金》午後6時～8時) (*5)	府) 「大阪モデル」に基づく「警戒信号(黄色)」が点灯
3月18日			国) 首都圏4都県の緊急事態宣言を解除(3月21日で終了)
4月1日			国) 大阪府を含む3府県に対しまん延防止等重点措置を適用(4月5日から)
4月7日			府) 「医療非常事態宣言」発出
4月23日			国) 大阪府を含む4府県に対し緊急事態宣言発出(4月25日から適用)

月日	月日	吹田市立図書館の対応	国、大阪府、吹田市の動向等
令和3年 (2021年)	4月24日		市) 第46回吹田市新型コロナウイルス感染症等対策本部会議開催 図書館は、緊急事態宣言の発出から解除まで臨時休館とするが、予約資料の貸出提供をすることを決定
	4月25日～	臨時休館 (予約資料の貸出は継続)	
	6月17日		国) 緊急事態宣言発出中の10都道府県のうち、大阪府を含む9都道府県の緊急事態宣言を解除、大阪府を含む7都道府県はまん延防止等重点措置に移行 (6月21日から適用)
	6月18日		市) 第49回吹田市新型コロナウイルス感染症等対策本部会議開催 図書館は6月21日より開館することを決定、重症化リスクのある方の推奨時間を設定し、利用時間は1時間とする
	6月21日～	一部制限付き開館再開 (午前10時～午後6時、《木・金》午後10時～8時) (*9)	
	7月1日	「すいた電子図書館」の提供開始	
	7月30日		国) 2都県に加え、大阪府を含む4府県に対し緊急事態宣言発出 (8月2日から適用)
	7月31日		市) 第51回吹田市新型コロナウイルス感染症等対策本部会議開催
	8月2日	一部制限付きの開館を継続 (*10)	
	8月17日		国) 大阪府の緊急事態宣言延長 (8月21日から適用)
	8月19日		市) 第52回吹田市新型コロナウイルス感染症等対策本部会議開催
	8月21日	一部制限付きの開館を継続 (*11)	
	9月28日		国) 大阪府を含む19都道府県の緊急事態宣言を解除 (9月30日で終了)
	9月30日		市) 第57回吹田市新型コロナウイルス感染症等対策本部会議開催
	10月1日～	通常開館 (*12)	
11月19日		国) 「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」決定	
令和4年 (2022年)	1月8日		府) 「大阪モデル」に基づく「警戒信号 (黄色)」が点灯
	1月11日		市) 第61回吹田市新型コロナウイルス感染症等対策本部会議開催
	1月12日	通常開館を継続 (*13)	
	1月24日		府) 「大阪モデル」に基づく「警戒信号 (赤色)」が点灯
	1月25日		国) 大阪府を含む36都府県にまん延防止等重点措置を追加適用 (1月27日から)
	1月31日	全館への検温機の設置完了	
	2月3日	全館への書籍除菌機の設置完了	
	2月8日		府) 「医療非常事態宣言」発出
	3月17日		国) まん延防止等重点措置、すべて解除 (3月21日で終了)
	3月18日		府) 年度替わりの集中警戒期間 (3月22日～4月24日)
	7月11日		府) 「大阪モデル」に基づく「警戒信号 (黄色)」が点灯
	7月27日		府) 「大阪モデル」に基づく「警戒信号 (赤色)」が点灯、「医療非常事態宣言」を発出 (7月28日～9月14日)
	7月29日		国) 「BA.5対策強化宣言」を創設
	8月3日		国) 大阪府が「BA.5対策強化地域」に位置づけ (宣言の発出なし)
	9月14日		府) 「大阪モデル」に基づく「警戒信号 (黄色)」に引き下げ、「医療非常事態宣言」を解除 (9月15日から)
	9月26日		国) 全国での感染者の全数把握の見直し運用開始 (9/2～宮城、茨城、鳥取、佐賀で運用)
	10月11日		府) 「大阪モデル」に基づく「警戒信号」が解除
	11月8日		府) 「大阪モデル」に基づく「警戒信号 (黄色)」が点灯
12月26日		府) 「大阪モデル」に基づく「警戒信号 (赤色)」が点灯	
令和5年 (2023年)	1月31日		府) 「大阪モデル」に基づく「警戒信号 (黄色)」に引き下げ
	2月10日		国) 「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」変更
	2月24日		府) 「大阪モデル」に基づく「警戒信号」が解除
	3月13日		国) マスク着用を個人判断に委ねる
	5月5日		世界保健機関 (WHO) が「緊急事態宣言」の終了を発表
	5月8日		国) 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「2類感染症」から「5類感染症」に移行、「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」廃止

- (\*1) 自宅などで読める無料公開書籍サイトの紹介。
- (\*2) 吹田市立図書館司書が本の楽しさやおもしろさをお伝えするYouTube動画。
- (\*3) 手軽にできる運動紹介サイト集。
- (\*4) 美術館や動物園などの動画サイト集。
- (\*5) 妊婦、障がい者、高齢者等の推奨時間設定有。一時閉館時には館内消毒を実施。
- (\*6) 館内閲覧資料の閲覧、(間隔をあけた) 閲覧席の利用、利用者用インターネット端末の利用(30分まで)、複写サービス、カウンターでのレファレンス(15分以内)、ブックスタートの絵本プレゼントを再開。
- (\*7) 夜間閉館時は予約資料の受渡しのみ。閲覧席数削減。新聞はカウンターでの受渡し。
- (\*8) 館内滞在時間を30分までから1時間までに拡大。
- (\*9) 妊婦、障がい者、高齢者等の推奨時間設定有。
- (\*10) 館内滞在時間を1時間から30分までに短縮。閲覧席数削減。
- (\*11) 閲覧席の利用・利用者用インターネット端末の利用等の休止。
- (\*12) 妊婦、障がい者、高齢者等の推奨時間設定なし。感染対策を取りながら通常どおりの図書館サービスを再開。10/25～座席制限なし。11/1～自習室の利用制限なし。
- (\*13) (間隔をあけた) 閲覧席の利用・短時間の図書館利用等の呼びかけ。

【感染防止対策の様子】

カウンターへのアクリルパネルの設置



手指消毒スプレーの設置



図書除菌機の設置



検温機の設置

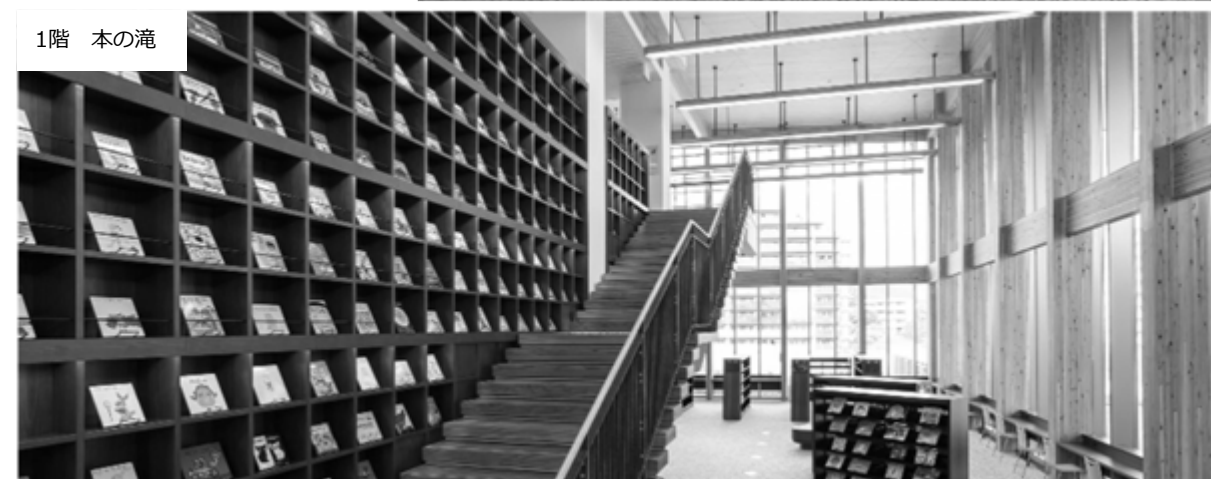
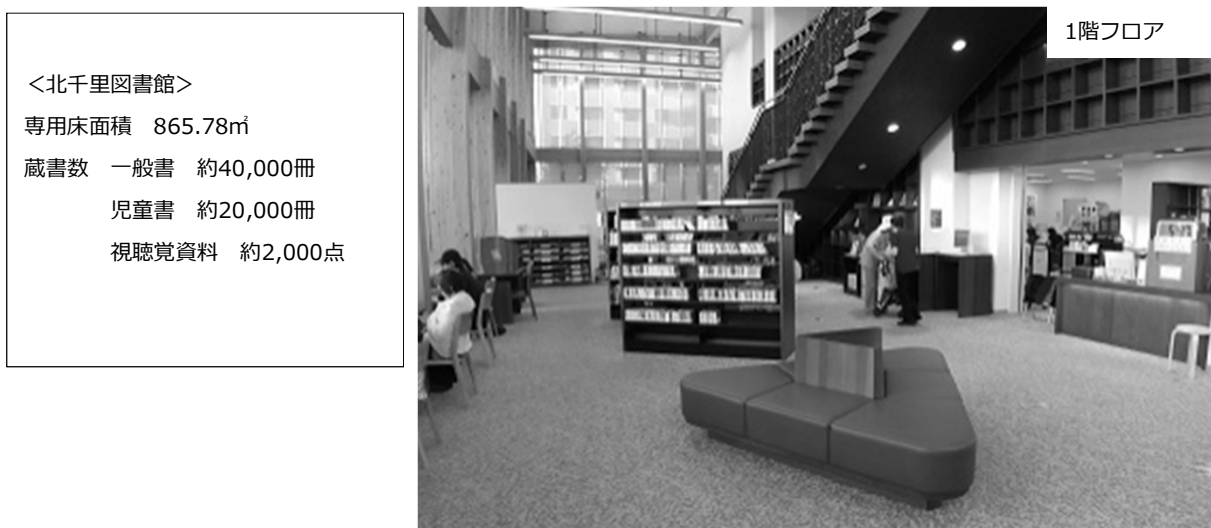


## 特集2 北千里図書館の紹介

昭和56年（1981年）に児童書専門の図書室として開室した北千里分室は、広く地域の方々に親しまれてきましたが、令和4年（2022年）11月22日に、公民館・図書館・児童センターの3つの機能を備えた複合施設「まちなかりビング北千里」に、北千里図書館としてリニューアルオープンしました。蔵書数も増え、広々とした図書館に生まれ変わり、新しい利用者も増えています。



「まちなかりビング北千里」という施設名称には「リビングが家族の結びつきを育む場であるように、気軽に訪れ、集い、ふれあい、ともに心を育む、すべての人のための場所となるように」という思いが込められています。能勢産木材をはじめとする国産木材をふんだんに使い、木の香りがただよふ解放感あふれる施設で、幅広い世代の方が地域の交流を深める拠点になっています。



1階 閲覧席



エントランスホールそばの大きなテーブルを囲む閲覧席では、パソコンやタブレットを使用しながら調べ物を行うことができます。オープンスペースに面した窓側の閲覧席は、外を眺めながら読書を行うことができます。

1階 児童書コーナー



靴を脱いであがる「おはなしスペース」には、絵本をそろえています。親子で読み聞かせをしたり、子供同士で1冊の絵本をのぞきこむように読んでいたり、くつろぎながら楽しめるスペースです。乳幼児室の「まちきた」バスは、子供たちに人気のスポットです。

2階フロア



2階フロアには一般書をそろえており、エレベーター前のスペースには、YA（ヤングアダルト）コーナーとマンガコーナーを設置しています。テーブル席では、中高生がグループで集まりタブレットを使ったり、一人でじっくり読書に集中する姿が多く見られます。